

2010年1月16日(土)

日本経済新聞

質ス バイオマス 燃焼装置を拡販

木バイオマス アークなど3社が提携

生ごみ処理装置販売の
アーク(新潟市、五十嵐
策二社長)など3社は15
日、廃材や間伐材などの
木質バイオマス(生物資
源)を高効率で燃焼する
装置の販売で業務提携す
ると発表した。木質バイ
オマスは温暖化ガスの二
酸化炭素(CO₂)の排
出が実質ゼロのエネルギ
ー源として利用できる。
公共施設や工場などに採
用を働き掛ける。
業務提携したのはアーク、新潟TLO(同、結
城洋司社長)、新潟バイ
オリサーチパーク(同、
佐藤征也社長)の3社。
新潟TLOや新潟バイオ
リサーチパークが持つ企
業や大学とのネットワー
クを生かし、アークが開
発したバイオマス・ガス
化燃焼装置の販路を拡大
する。2010年度は7
機、計約5000万円の
売り上げを目指す。
同装置は建築現場から
出る廃材のほか、間伐材
や枯れ葉などを燃やし、
セ氏1000度以上の熱
を得る。発生した熱で湯
を沸かしたり、冷暖房に
利用したりする。
すでに山梨県の温泉施
設などが導入しており、
灯油利用に比べ燃料費を
58%減らした実績もある
という。